


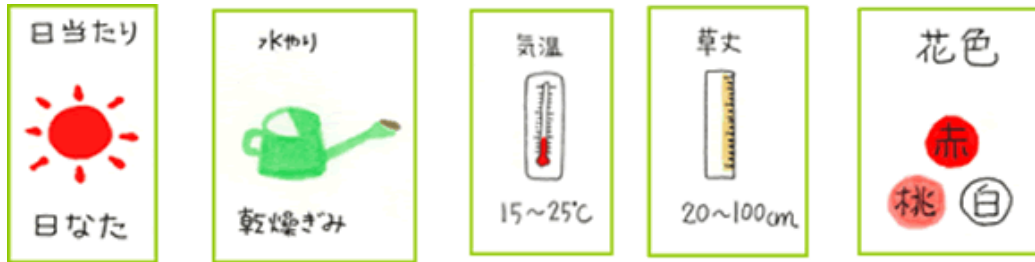
お花の栽培シリーズ「ゼラニウム」		
2006年3月	弥生(やよい)・桜月(さくらづき)・花見月(はなみつき)・夢見月(ゆめみつき)・晩春(ばんしゅん)	●大地が本格的に活動しはじめる季節
日ごとに日ざしが強くなり、天気は周期的に変わりがちです。日本海側でも、雪の日は少なくなり、春の兆しが見え始めます。草花の待ちに待った春がやってきます。		
庭木の作業	落葉樹・常緑樹の植え替え	
草花の作業	・1年草や宿根草は、地ごしらえをして中旬までには植付けを終わらせる。 ・夏咲き球根は、分球して植えつける。	

今月の誕生花	アイリス・スイートピー・スマレ・フリージア	
今月の花	<p>ナノハナ 花言葉 / 快活さ</p> <p>旬の季節には、ツボミが 花屋だけでなく スーパーの生鮮野菜のコーナーにも並びます。サラダや カラシあえにすると 大変おいしいからです。この料理をつくるときは、新鮮で つぼみの固いものを選びましょう。また、菜の花を 塩漬けにした「菜の花漬け」は京都の名物。その美しさから、黄金菜とも呼ばれています。</p>	
	<p>原産地は南ヨーロッパ、東アジア。アブラナ科 アブラナ属の越年草。草丈は60～80cm。開花時期は12～5月。最盛期は2～3月。葉の形状は 密生、互生、縮れ葉の縁は不規則な波状切れ込み。花色は黄、オレンジ。 別名：ナタネナ、菜花(ナバナ)、花菜(ハナナ)、油菜(アブラナ)。英名フィールドマスタード (Field mustard)。</p>	
	<p>「菜の花や 月は東に 日は西に」と 詠んだのは、与謝蕪村です。 昔は、ナノハナの種子から 自家製のナタネ油を作っていた農家が 多かったものです。日本には、菜の花を題材にした詩歌が たくさんあります。 菜の花 まるで早春をつれてくる花のようです。花言葉の「快活な思い」を 運んでくれるのかもしれない。 桃の節句には 桃と菜の花を ひと組にして使う習わしは、江戸時代からつづいています。春を感じさせる お祝いの花なんですね。</p>	
		

お花の栽培シリーズ

今月の花

ゼラニウム



ゼラニウムの特徴は、1本の花茎の先端に数十の花をつけ、10cm以上の球形のかたまりとなつて つぎつぎと開花したときの ポリューム感にあります。

四季咲き性で 長く花が楽しめ、挿し木で 簡単にふやせることから、ヨーロッパでは特に 窓辺を飾るポピュラーな園芸種として 親しまれています。

比較的 乾燥した冷涼な気候を好みます。

それだけに 高温多湿は苦手、湿気の多い梅雨や 夏の暑さを 嫌います。

雨が避けられる 風通しのよい日なたで、水やりを控えて 乾燥気味に育てましょう。

わき芽を残して 切り戻してやれば 風通しもよくなり、株に負担がかからず 夏越しできます。

また、育つてくると 草丈が高くなり、下葉が枯れてきますので、そのときに**切り戻し**をします。

切り戻しをして株の形を整えると、株の勢いがよくなります。

切った茎は **挿し木**をして増やします。

●切り戻しのやり方

切り戻しは、伸びた茎から随時おこないます。
できるだけ低いところにある芽の上で切るようにすると全体が低くまとまり、姿がよくなります。



●挿し木のやりかた



半日陰に1日置いて 切り口を乾かしてから、水はけのよい用土に挿します。

茎の下3分の1が土の中にはいるように挿します。

作業後、たっぷりと水を与えて半日陰にしましょう。

3~4週間すると根がでるので3号鉢に赤玉土7+腐葉土3の割合でまぜた土を入れて 植えつけます。その後 摘芯をすると 側土が伸びてきて ポリュームがでます。

●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状況			花芽形成期					花期	花期	花芽形成期		
置き場所	屋内の日当たりのいい場所		屋外の日当たりのいい場所				屋外の半日陰／露地栽培は日よけをする		屋外の日当たりのいい場所			
水やり	4～5日に1回		2～3日に1回		表土が乾いたら与える(1日に1回)		2～3日に1回		表土が乾いたら与える(1日に1回)		2～3日に1回	4～5日に1回
肥料	2ヶ月に1回、緩効性の肥料を施す											
病気害虫							ポトリチス病の防除					
作業			花がら摘み									
			切り戻し									
			植え替え									
	挿し木							挿し木				